

学内同調会通信

2010年 6月 第8号

発行日:6/15/2010 発行:国立音楽大学学内同調会

ごあいさつ

学内同調会会長 藤沢章彦

この度、神原前会長のあとを引き継ぐことになりました。どうぞよろしく願いいたします。

この学内同調会は、「すべての現職教職員と在学生とが親睦を図りつつ、出身地との絆を大切に連携を図ること」を大きな目的にしています。またこのため、卒業生の同調会とも協調していくこととしています。

国立音大が、今後も順調に維持・発展していくためには、卒業生—大学—在学生の関係をもっとよく、より深くしていくことが重要であると考えます。そのためには、大学が卒業生と在学生の橋渡しの役割を担うことが必要です。現職の教職員の皆様には出身校に関係なく入会いただけますので、学生が郷里とかかわりを持ちながら、国立音大の誇りをもって音楽活動ができるようご支援・ご協力をお願いいたします。

先日の総会で今期（平成24年3月まで）の役員が下記のように決まりました。不明なことはどうぞお尋ねください。

学内同調会総会を開催

本年3月26日午後5時より6号館306室において学内同調会総会が開催されました。神原会長の開会挨拶に続き、昨年度の事業、収支、会計監査の報告が行われました。昨年度事業の柱は1) 学生の県人会活動への助成(下記参照)、2) 本学と同調会の共催コンサートへの支援、3) 2回の通信の発行と、4) 新入生向けパンフレットの作成であり、資料をもとに説明がなされ

ました。続いて次年度の事業計画案と役員の改選が行われ、いずれも出席者の総意により承認されました。

総会終了後は場所を変えて懇親会が開催され、和やかな雰囲気の中、親睦を深めるよい機会となりました。

平成22年度役員：藤沢章彦（会長）、山本英助（副会長）、神原雅之・内海あゆみ（総務）、藤井喬梓・足本憲治（広報）、駒沢とみ子・淀彰（交流企画）、内海あゆみ（会計）、酒井美恵子（監事）、諸井重孝（事務局）

助成金申請を受付ます

学内同調会では平成22年度の助成金の申請受付を行います。この助成は出身都道府県でまとまった学生達が行う演奏会等を対象に、毎年度2回行うものです。今回の申請期間は6月1日から30日の間です。（演奏だけでなく、その前段階の茶話会にも助成されますので、申請をご検討ください。）助成額は前回同様1～2万円程度を予定しています。申し込みは学内同調会「地域顧問」の先生方を通じて行って下さい。詳しくは掲示(学生ホール等)また新入生に配布されている「Campus2010」をご覧ください。お近くの学生にもお知らせいただければ幸いです。

「地域顧問」になっただけませんか？

上記のような活動に力を貸していただけの「地域顧問」の先生方を募集しております。ご出身、またはご縁のある地域の顧問になっただけでないでしょうか？活動の第一の事柄は上記の申請書の窓口になっただけで、難しい内容では

ありません。本学の発展のため是非ご検討をお願い申し上げます。お申し出は運営委員、または事務局の諸井さん(音楽資料課)までお願いいたします。

「地域顧問ミーティング」を開催します！

地域顧問の役割の再確認と相互交流のため、現在、地域顧問としてご協力いただいている先生方にはご出席賜りますようご案内申し上げます。
6月28日(火) 18:00~
第1会議室(本部棟2階)

* 「地域顧問」の先生方へ *

地域顧問の先生方には、ご多忙の中、誠に恐縮ですが、格別のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

顧問の役割は、次のような点に集約されるだろうと思われまます。

(役割1)

本学在学生の同郷出身者の組織化を促し、一人ひとりの学生が、より充実した学修生活を過ごせるように適切な助言を行う。

(役割2)

学生が同郷において開催する演奏会(学修成果の発表など)の企画・運営に際し、適時助言し、学生が地方同調会関係者とよい関係が築けるように、サポートをする。~学生が卒業後に帰郷した際に、スムーズに同調会の皆様に迎え入れていただけるように~

具体的には、次のようなアイデアがあると思います。しかし、これは各県の県人会の実態に応じて柔軟に対応していただけますよう、お願いします。

【例1】県人会の組織化のために：本学在籍の同郷学生有志を集めて面談を行う。

【例2】同郷出身者の有志を集めて、故郷での演奏会や発表会を企画・開催する。

【例3】学生が同郷出身者の「新入生歓迎会」や「懇親会」などを企画運営する際に、助言したり、参加したりして、学生間のコミュニケー

ションを図る。

【例4】学生が、故郷で演奏会を行う際、助言をしたり、相談に乗る。

①学生に、本学関係窓口に書類を届け出るように促す。「学外行事開催届」(提出先：学生支援課)、「学外演奏許可願」(提出先：演奏課)、「県人会助成金申請書」(学内同調会事務局：音楽資料課)ほか。

②顧問の先生は、地方同調会と県人会の間にあって、学生が地方同調会の皆様に温かく迎えられるように(学生に)助言を行う。

例えば、県人会学生代表に、(演奏会実施前や終了後などに)地方同調会の会長に挨拶や、お礼状を書くように促すなど。

③特に演奏の場合、演奏の質の向上に努めるように、適時助言する。

是非ご加入下さい！

学内同調会とは地方と本学を結ぶ活動を活性化し、教職員相互の交流を深めていこうというものです。

教職員の方でしたら常勤、非常勤を問わず、また国立音大のご出身でなくても加入できます。入会により会費以外、義務が生じることはありません。是非ご加入下さい。(右ページ中段の加入申し込み用紙にご記入の上、教員控室備え付けの箱にお入れ下さい。)

会費の納入について

2010年度の会費(¥3,000円)を受け付けます。以前の会費が未納の方は併せてお納め下さいますようお願い申し上げます。カンパも有難くお受けいたします。納入はお手数ですが安全確保のため下記口座へ振込でお願いいたします。本学本部棟のATMでもお振込み可能です。

会費の振込先：三井住友銀行立川支店
普通口座 4119124

金額：3,000円

締切り：2010年6月30日

